

# 与党参院選追い風期待

## 野党も歓迎「決断に敬意」

オバマ米大統領の広島訪問が決まろうたことについて、与野党から核廃絶に向けた歴史的な節目になると評価する声相次いだ。夏の参院選前のタイミングだけに、与党からは安倍内閣の外交成果をアピールする絶好の機会になると歓迎する声も上がった。

〈本文記事一面〉

自民党の稲田政調会長は10日、記者団に「核拡散防止という観点から、オバマ氏が広島を訪問することに世界的な意義がある」と評価した。「階級総務会長は「ただ喜ぶだけでなく、(原爆投下で)犠牲になられた方々に対し、日米が一緒に過去を反省し、悲劇を繰り返すことのないように、両国首脳にしっかり誓っていただきたい」と語った。

党衆院議員は「安倍首相や岸田外相の成果だ。非核化のメッセージが世界に伝わり、広島のアレゼンス(存在)がより高まるいい機会になる」と述べた。

日米の両首脳がそろって核廃絶への明確なメッセージを被爆地から発出することになり、世界の外交・安全保障に与える影響は大きい。核兵器の保有に固執する北朝鮮をけん制するうえでも、「日米の連携を最も

有効な形で見せることができる」(自民党幹部)との見方が出ている。

与党からは、参院選に向けて追い風になるとの声も上がる。26、27日の主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)に合わせ、オバマ氏が

広島を訪問することは、与党内で期待されていた展開だ。自民党関係者は「伊勢志摩サミットと合わせ、安倍内閣が『外交に強い』とのイメージを国民に印象づけられる」と喜んだ。

野党からも歓迎の声が上がった。民進党の前原誠司・元外相は「現職の米大統領としての決断に、率直に敬意を表したい。核廃絶の思いを誓ってもらいたい」と述べた。

同党の長島昭

久衆院議員は「米国の中には批判もあるが、それを乗り越えて大統領の核廃絶への意思が枯れていないことを印象づける」と評価した。

ただ、民進党は終盤国会

### 日程調整始める

日本政府はオバマ米大統領の広島訪問が正式に決定したことを受け、米政府と具体的な日程調整に入った。

で見せ場を作れずにいるだけに、政府・与党の評価が高まるとみられる外交成果に困惑もある。中堅議員は「安倍首相に批判のしようがないポイントが稼がれてしまった」と語った。

日本政府関係者によると、オバマ氏は27日夕に広島へ到着する見通しだ。主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)が開催される三重県志摩市からはヘリや大統領専用機などで移動し、米

軍岩国基地を経由した上で広島入りする方向だ。広島滞りは数時間で、宿泊はない。

首相は27日午後にはサミット会場で議長としての記者会見を予定している。オバマ氏の広島訪問に伴い、日本政府は記者会見の時間を繰り上げて実施することも検討している。首相とオバマ氏がどのような形で合流するかや、ヘリなどの移動が難しくなる荒天時の対応は引き続き検討する。